

二宮小学校だより 1月

令和3年
1月29日発行



令和3年が始まって1か月が過ぎようとしています。今月は、学校が始まった直後に緊急事態宣言が発出されたため、大変緊張した中で一日一日を送ってきました。

6日(水)の始業式の日、子どもたちには、丑年に関係した次のような話をしました。「今年は、十二支の動物の中で最も歩くのが遅い牛のように、先を急がず、あせらず、一步一步着実に歩いていくことが大切です。二宮小学校のみなさんには、努力すること、がんばることを一つ一つ確実に積み上げていってほしいと思います。」

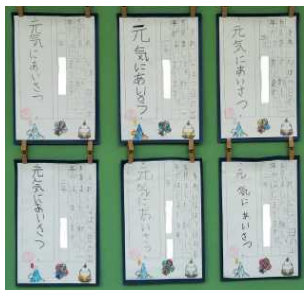
今学期は3か月に満たない短い学期ですが、1年を振り返るとともに、新しい学年を意識し、どのような自分をめざすのかを考える、大変重みのある学期です。一人一人がどんな成長を見せてくれるか楽しみです。



「花の和」の皆さんによる
1月の花「ツバキ」です

1月の学習・生活より ＜全学年による書初め＞

新年の決意新たにすべての学年で書初めを行いました。1年生は「お正月に、おそうにをたべました。からだがぼかばかしました。」、2年生は「元気にあいさつ」、3年生は「友だち」、4年生は「明るい心」、5年生は「新しい風」、6年生は「将来の夢」です。



1・2年生は鉛筆やペンで、3年生以上は毛筆の学習を生かして筆で書きました。年が新しくなったこの時期に真っ白な紙に真剣に文字を書く。そして、自分に向き合い、どんな自分をめざすのかを考える。黙々と鉛筆や筆を動かしている子どもたちから、今年に対する決意が伝わってきました。

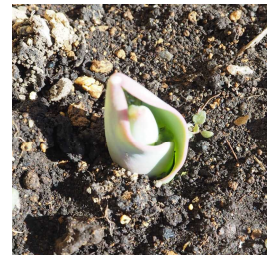


＜みんなであつなろう

チューリッププロジェクト＞

たあくな級、1年生、2年生、3年生の子ども

たちによるチューリッププロジェクト。昨年の10月から始めました。これは、コロナ禍の中、子どもたち同士の交流の機会が減ってしまったことを受け、「みんなであつなろう」をテーマに、異学年、異学級との交流を少しでも進めることを目的に計画されました。また、みんなで育てたチューリップで花壇をいっぱいにし、明るく華やかな雰囲気の中、新しい1年生を迎えようという試みでもあります。1月に入ってから、たあくな級と1・2年生の子どもたちが植えた球根からチューリップが芽を出し始めました。これから暖かい日が増えてくると、芽を出す球根が日に日に多くなっていくでしょう。3年生は看板づくりでこのプロジェクトに協力しました。



4月の入学式で、とてもきれいな花を咲かせ、1年生を迎えてくれることと思います。春の訪れが今から楽しみです。



＜お礼のメッセージカード＞

登下校の見守りや学習の支援、校内の環境整備、学校運営協議会等でお世話になっている地域の方々をお招きして、「お礼の会」をこれまで開いてきました。しかし、今年は新型コロナウイルス感染防止のため、大変残念ではありましたが、会の開催を見送り、子どもたちの手作りのメッセージカードをお一人お一人に贈らせていただくこととしました。このメッセージカードは、全校の子どもたちが力を合わせて作ったものです。まず、1年生がカードの材料となる画用紙を各学級に配りに行きました。そして、2年生がカードを開いたときに現れる「虹」をぬり、3年生が二宮小学校のキャラクター「にのっと」と文字の部分のぬり、4年生がとび出すしかけを作り、5年生がお礼のメッセージを書き、そして最後に6年生がそれぞれをきれいに貼り合わせてカードを完成させました。



地域の皆様、日頃より様々な面から二宮小学校の子どもたちを見守り、そして支えてくださり、ありがとうございます。



